



検査装置開発研究グループ

KIT21

検査装置開発研究グループ

メンバー

- ・(有)大賀技研工業 (リーダー)
- ・(株)豊國
- ・朝日食品容器(株)
- ・北辰計機(株)
- ・(株)サンヨー
- ・大栄産業(株)
- ・(有)ゴリユウ陶工
- ・かわべメガネ店
- ・(株)呉匠
- ・福興商事(株)

- ・(有)児玉クリーニング (サブリーダー)
- ・石田プラスチック(株)
- ・(有)はるかぜ
- ・日本システムデザイン(株)
- ・フォーシーズン
- ・福田 (個人)
- ・二上特許事務所
- ・(有)清水塗装店
- ・(株)ふおるてしも

発表者 (株)ふおるてしも 福場 寛紀

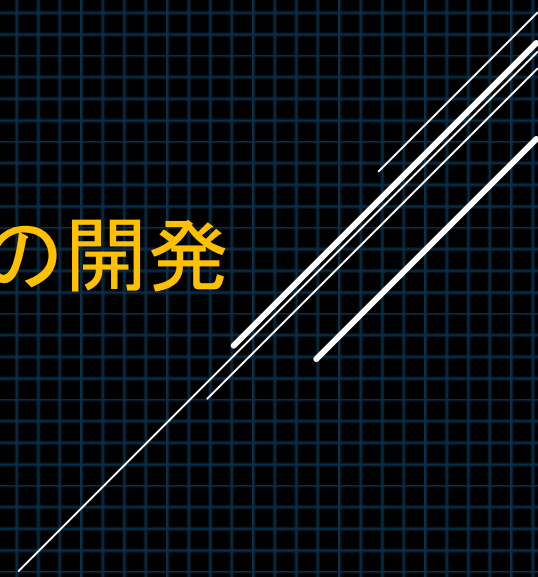
活動方針

検査の自動化で、

品質保証とコスト削減の提案を行う。

- 1.最新情報の収集と、ハード及びソフトウェア技術を習得する。
- 2.多分野の専門技術の結集により、検査の自動化提案から試作、及びその事業化を目指す。

平成27年度 活動計画・目標

- ◆ 玄関マット等、自動検査装置の事業化
 - ◆ 一人暮らし高齢者見守りシステム開発
 - ◆ みかん皮剥離補助装置の開発
 - ◆ ボルトの増し締めチェック検査装置の開発
 - ◆ 次期テーマ探索
- 

活動実績 (月別)

	定例会議	内 容
4月	10日(金)	国立病院二ーズ調査、呉高専見守りシステム
5月		総会
6月	11日(木)	医工連携二ーズに関する調査&報告
7月	9日(木)	マット検査装置、ボルト増し締め検査装置、窓ふき補助具、見守りシステム
8月	6日(木)	マット検査装置、みかん皮剥離補助装置、見守りシステム、ボルト増し締め検査装置、窓ふき補助具、国立病院二ーズ
9月	10日(木)	みかん皮剥離補助装置、見守りシステム、ボルト増し締め検査装置、窓ふき補助具、駐車場自動精算機
10月	8日(木)	みかん皮剥離補助装置、見守りシステム、ボルト増し締め検査装置
11月	19日(木)	みかん皮剥離補助装置、見守りシステム、駐車場自動精算機
12月	—	
1月	21日(木)	見守りシステム(呉高専学生から報告)、みかん皮剥離補助装置、駐車場自動精算機、ボルト増し締め検査装置
2月	24日(金)	みかん皮剥離補助装置、カキグループ依頼案件、見守りシステム、ボルト増し締め検査装置、駐車場自動精算機
3月	23日(水)	みかん皮剥離補助装置、カキグループ依頼案件、見守りシステム、ボルト増し締め検査装置、駐車場自動精算機

会議と交流会

●会議（森沢ホテル）



●交流会



●会議（阪急ホテル）



●会議（メンバー企業）



研究開発 1 マット外観検査装置

- ・ 顧客による試作機の評価。
- ・ 試作機の向上を図るため、構造改良設計を実施。
(顧客のライン上に設置予定)



研究開発2 高齢者見守りシステム開発

呉高等専門学校生の卒業テーマとして申請し共同で開発

- ・ 呉高専の藤本さん(学生)と田中教授によりRaspberry Piとカメラモジュールを使った低コストのシステムを開発した。



更にシステムアップし
製品化を目指す!

研究開発3 ミカン果皮剥離補助装置開発

試作機を製作し顧客先で実験・検証を進めている。

- ①試作機で処理した"みかん"が生産ラインで剥離できるか
- ②試作機が目標の生産量を処理できるか
- ③実際に生産ラインに組み込む場合の改良



研究開発 4 ボルト増し締めチェック装置開発

広島大学院工学研究院 高木先生を訪問
高木先生達により開発されたモアレ模様を利用し、増し締めチェック装置
を検討中。

この方法は、
特許性がある！
面白い！



研究開発5 技術シーズ探索、ニーズ調査

A. ロボット関連技術（ロボット、ビジョンセンサ、画像処理）



B. 駐車場の自動整理券投入口の改良・開発

C. 窓ふき補助具

ま と め

- (1) 玄関マット検査装置に関しては、顧客との情報交換を通じて実用化へ近づいた。
- (2) 大学等との交流が活発化することで、幅広いシーズ情報の収集が行えた。
- (3) 検査装置という枠に拘らないことで、多様なニーズ情報を得ることができた。

平成28年度活動予定

- (1) 高齢者見守りシステムの開発を、平成27年度に引き続き、呉工業高等専門学校の卒業テーマとして共同開発する。
 - (2) グループ企業ニーズの外観検査装置開発支援をおこなう。
 - (3) みかん果皮剥離補助装置の製品の具現化を検討。
 - (4) 市場ニーズ及びシーズ探索と、次期開発テーマを協議の上決定する。
 - (5) グループ会議の開催を毎月第2木曜日から第4水曜日に変更する。
- ※5月より、グループリーダーを新田氏とし、新しい体制でスタートする。